科目名	人間と科学Ⅱ(倫理学)	英語科目名	Cultural Science II (Ethics)			
開講年度・学期	平成27年度・後期	対象学科・専攻・学年	5年全学科			
授業形態	講義	必修 or 選択	選択			
単位数	1 単位	単位種類	履修単位			
担当教員	上野 哲	居室(もしくは所属)	講義棟2階			
電話	0285-20-2100	E-mail	tueno@oyama-ct. ac. jp			
	授業達成目標との対応					
授業の達成目標			小山高専の 教育方針	学習・教育 目標(JABEE)	JABEE 基準 要件	
1. 科学技術時代にきること。	こふさわしい新たな倫理が必	要になった背景を理解で	1	D	b	
2. これからの時f きること。	tに必要とされる専門家と市.	民の倫理について説明で	1	D	b	
3. 応用倫理分野の	D問題解決策について, 説得:	力を伴う持論を展開でき	6	E	d – 4	
ること。						
	る達成度の具体的な評価方法 の授業において設定した設問					
		題内容理解]課題の内容を	理解している			
ート(1回・100	[論 [独 [現:	理性]論理的に記述されて 自性]独創的な視点に基づ 実性]現実的な考察をおこ 得力]論理的・現実的な考察 点×14回=210点満点	理解している。 いる。(15点 いてっている。 なかまいる。 を独自び達成) およよ	。(15点) ā) みている。(15 (15点) でおこなってい	る。(25点)	
ート(1回・10) 評価方法	[論 [独 [現: [説: つるレポート(14回・15 ₎ O 点満点)について、合計点:	理性] 論理的に記述されて 自性] 独創的な視点に基づ 実性] 現実的な考察をおこ 得力]論理的・現実的な考察 点×14回=210点満点 が60%以上の場合、達成	理解している。 いてな論いいている。 なな独自のできないのでは できないではないのでである。 できないではない。 できないできる。 できないできる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	。(15点) 系) みている。(15 (15点) でおこなってい 目標2及び3に	る。(25点)	
ート(1回・100 評価方法 毎回の授業における	[論: [独 [現 [説 っるレポート(14回・15 ₎	理性] 論理的に記述されて 自性] 独創的な視点に基づ 実性] 現実的な考察をおこ 得力]論理的・現実的な考察 点×14回=210点満点 が60%以上の場合、達成	理解している。 いてな論いいている。 なな独自のできないのでは できないではないのでである。 できないではない。 できないできる。 できないできる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	。(15点) 系) みている。(15 (15点) でおこなってい 目標2及び3に	る。(25点)	
ート(1回・10(評価方法 毎回の授業における 授業内容	[論 [独 [現: [説: つるレポート(14回・15 ₎ D点満点)について、合計点: るレポート(14回分)の成:	理性] 論理的に記述されて 自性] 独創的な視点に基づ 実性] 現実的な考察をおこ 得力]論理的・現実的な考察 点×14回=210点満点 が60%以上の場合、達成	理解している。 いてな論いいている。 なな独自のできないのでは できないではないのでである。 できないではない。 できないできる。 できないできる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	。(15点) 系) みている。(15 (15点) でおこなってい 目標2及び3に	る。(25点)	
ート(1回・100 評価方法 毎回の授業における 授業内容 1.科学技術倫理と	[論 [独 [現] [説] つるレポート(14回・15 D点満点)について、合計点 るレポート(14回分)の成 と生命倫理	理性] 論理的に記述されて 自性] 独創的な視点に基づ 実性] 現実的な考察をおこ 得力]論理的・現実的な考察 点×14回=210点満点 が60%以上の場合、達成	理解している。 いてな論いいている。 なな独自のできないのでは できないではないのでである。 できないではない。 できないできる。 できないできる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	。(15点) 系) みている。(15 (15点) でおこなってい 目標2及び3に	る。(25点)	
ート(1回・100 評価方法 毎回の授業における 授業内容 1.科学技術倫理と 2.生殖技術の発展	[論: [独: [現: [説: つるレポート(14回・15] D点満点)について、合計点: るレポート(14回分)の成: と生命倫理 展と権利の問題	理性] 論理的に記述されて 自性] 独創的な視点に基づ 実性] 現実的な考察をおこ 得力]論理的・現実的な考察 点×14回=210点満点 が60%以上の場合、達成	理解している。 いてな論いいている。 なな独自のできないのでは できないではないのでである。 できないではない。 できないできる。 できないできる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	。(15点) 系) みている。(15 (15点) でおこなってい 目標2及び3に	る。(25点)	
ート(1回・100 評価方法 毎回の授業における 授業内容 1. 科学技術倫理と 2. 生殖技術の発展 3. 日本の生命観と	[論 [独 [現: [説: つるレポート(14回・15] D点満点)について、合計点: るレポート(14回分)の成: と生命倫理 展と権利の問題 と西欧の生命観	理性] 論理的に記述されて 自性] 独創的な視点に基づ 実性] 現実的な考察をおこ 得力]論理的・現実的な考察 点×14回=210点満点 が60%以上の場合、達成	理解している。 いてな論いいている。 なな独自のできないのでは できないではないのでである。 できないではない。 できないできる。 できないできる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	。(15点) 系) みている。(15 (15点) でおこなってい 目標2及び3に	る。(25点)	
ート(1回・10(評価方法 毎回の授業における 授業内容 1.科学技術倫理と 2.生殖技術の発展 3.日本の生命観と 4.スポーツとドー	[論 [独 [現: [説: つるレポート(14回・15] D点満点)について、合計点: るレポート(14回分)の成: と生命倫理 展と権利の問題 と西欧の生命観 ーピング問題	理性] 論理的に記述されて 自性] 独創的な視点に基づ 実性] 現実的な考察をおこ 得力]論理的・現実的な考察 点×14回=210点満点 が60%以上の場合、達成	理解している。 いてな論いいている。 なな独自のできないのでは できないではないのでである。 できないではない。 できないできる。 できないできる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	。(15点) 系) みている。(15 (15点) でおこなってい 目標2及び3に	る。(25点)	
ート(1回・10(評価方法 毎回の授業における 授業内容 1. 科学技術倫理と 2. 生殖技術の発展 3. 日本の生命観と 4. スポーツとドー 5. 「性」と「身体	[論 [独 [現: [記: つるレポート(14回・15) の点満点)について、合計点 るレポート(14回分)の成 と生命倫理 展と権利の問題 と西欧の生命観 ーピング問題 本」の問題	理性] 論理的に記述されて 自性] 独創的な視点に基づ 実性] 現実的な考察をおこ 得力]論理的・現実的な考察 点×14回=210点満点 が60%以上の場合、達成	理解している。 いてな論いいている。 なな独自のできないのでは できないではないのでである。 できないではない。 できないできる。 できないできる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	。(15点) 系) みている。(15 (15点) でおこなってい 目標2及び3に	る。(25点)	
ート(1回・10(評価方法 毎回の授業における 授業内容 1. 科学技術倫理と 2. 生殖技術の発展 3. 日本の生命観と 4. スポーツとドー 5. 「性」と「身体 6.「健康」と「標	[論 [独 [現: [記: つるレポート(14回・15) の点満点)について、合計点 るレポート(14回分)の成 と生命倫理 と生命倫理 とと権利の問題 と西欧の生命観 ーピング問題 本」の問題 準値」の関係	理性] 論理的に記述されて 自性] 独創的な視点に基づ 実性] 現実的な考察をおこ 得力]論理的・現実的な考察 点×14回=210点満点 が60%以上の場合、達成	理解している。 いてな論いいている。 なな独自のできないのでは できないではないのでである。 できないではない。 できないできる。 できないできる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	。(15点) 系) みている。(15 (15点) でおこなってい 目標2及び3に	る。(25点)	
ート(1回・10(評価方法 毎回の授業における 授業内容 1. 科学技術倫理と 2. 生殖技術の発見 3. 日本の生命観と 4. スポーツとドー 5. 「性」と「身体 6. 「健康」と「標 7. 脳死と臓器移材	[論 [独 [現 [記 つるレポート(14回・15] の点満点)について、合計点 るレポート(14回分)の成 と生命倫理 展と権利の問題 と西欧の生命観 ーピング問題 本」の問題 準値」の関係 値	理性] 論理的に記述されて 自性] 独創的な視点に基づ 実性] 現実的な考察をおこ 得力]論理的・現実的な考察 点×14回=210点満点 が60%以上の場合、達成	理解している。 いてな論いいている。 なな独自のできないのでは できないではないのでである。 できないではない。 できないできる。 できないできる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	。(15点) 系) みている。(15 (15点) でおこなってい 目標2及び3に	る。(25点)	
ート(1回・10(評価方法 毎回の授業における 授業内容 1. 科学技術倫理と 2. 生殖技術の発射 3. 日本の生命観と 4. スポーツとドー 5. 「性」と「身体 6.「健康」と「標 7. 脳死と臓器移植 8. 環境を「保全等	[論 [独 [現 [記 つるレポート(14回・15] の点満点)について、合計点 るレポート(14回分)の成 と生命倫理 展と権利の問題 と西欧の生命観 ーピング問題 本」の問題 準値」の関係 値	理性] 論理的に記述されて自性] 独創的な視点に基づ自性] 現実的な考察をおこ実性] 現実的・現実的な考察をおこのは、14回=210点満点が60%以上の場合、達成	理解している。 いてな論いいている。 なな独自のできないのでは できないではないのでである。 できないではない。 できないできる。 できないできる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	。(15点) 系) みている。(15 (15点) でおこなってい 目標2及び3に	る。(25点)	
ート(1回・100 評価方法 毎回の授業における 授業内容 1. 科学技術倫理と 2. 生殖技術の発見 3. 日本の生命観と 4. スポーツとドー 5. 「性」と「身に 6. 「健康」と「標 7. 脳死と臓器移植 8. 環境を「保全す 9. 「ハードゾーニ	[論 [独 [現 [記 つるレポート(14回・15 の点満点)について、合計点 るレポート(14回分)の成 と生命倫理 展と権利の問題 と西欧の生命観 ーピング問題 本」の問題 達値」の関係 直 する」とは ング」と「ソフトゾーニング	理性] 論理的に記述されて自性] 独創的な視点に基づ自性] 現実的な考察をおこ実性] 現実的・現実的な考察をおこのは、14回=210点満点が60%以上の場合、達成	理解している。 いてな論いいている。 なな独自のできないのでは できないではないのでである。 できないではない。 できないできる。 できないできる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	。(15点) 系) みている。(15 (15点) でおこなってい 目標2及び3に	る。(25点)	
ート(1回・100 評価方法 毎回の授業における 授業内容 1. 科学技術倫理と 2. 生殖技術の発見 3. 日本の生命観と 4. スポーツとドー 5. 「性」と「身体 6. 「健康」と「標 7. 脳死と臓器移植 8. 環境を「保全す 9. 「ハードゾーニ 10. ニセ科学があ	[論 [独 [現 [記 つるレポート(14回・15 の点満点)について、合計点 るレポート(14回分)の成 と生命倫理 展と権利の問題 と西欧の生命観 ーピング問題 本」の問題 準値」の関係 直 する」とは ング」と「ソフトゾーニング 引き起こす問題	理性] 論理的に記述されて自性] 独創的な視点に基づ自性] 現実的な考察をおこ実性] 現実的・現実的な考察をおこのは、14回=210点満点が60%以上の場合、達成	理解している。 いてな論いいている。 なな独自のできないのでは できないではないのでである。 できないではない。 できないできる。 できないできる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	。(15点) 系) みている。(15 (15点) でおこなってい 目標2及び3に	る。(25点)	
ート(1回・100 評価方法 毎回の授業における 授業内容 1. 科学技術倫理と 2. 生殖技術の発見 3. 日本の生命観と 4. スポーツとドー 5. 「性」と「身体 6. 「健康」と「標 7. 脳斑を「保全する 9. 「ハードゾーニニ 10. ニセ科学がラ 11. 科学ジャープ	[論 [独 [現 [記 つるレポート(14回・15 の点満点)について、合計点 るレポート(14回分)の成 と生命倫理 展と権利の問題 と西欧の生命観 ーピング問題 本」の問題 準値」の関係 値 する」とは ング」と「ソフトゾーニンク 引き起こす問題 ナリズムをめぐる諸問題	理性] 論理的に記述されて自性] 独創的な視点に基づ自性] 現実的な考察をおこ実性] 現実的・現実的な考察をおこのは、14回=210点満点が60%以上の場合、達成	理解している。 いてな論いいている。 なな独自のできないのでは できないではないのでである。 できないではない。 できないできる。 できないできる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	。(15点) 系) みている。(15 (15点) でおこなってい 目標2及び3に	る。(25点)	
ート(1回・100 評価方法 毎回の授業における 授業内容 1. 科学技術倫理と 2. 生殖技術の発見 3. 日本の生命観と 4. スポーツとドー 5. 「性」と「身体 6.「健康」と「標 7. 脳死と臓器移植 8. 環境を「保全す 9. 「ハードゾーニ 10. ニセ科学が 11. 科学ジャーフ 12. ホイッスルフ	[論 [独 [現: [記: つるレポート(14回・15) の点満点)について、合計点 るレポート(14回分)の成 と生命倫理 展と権利の問題 と西欧の生命観 一ピング問題 本」の問題 準値」の関係 値 する」とは ング」と「ソフトゾーニング 引き起こす問題 ナリズムをめぐる諸問題 ブローイングの長所と短所	理性] 論理的に記述されて自性] 独創的な視点に基づ自性] 現実的な考察をおこ実性] 現実的・現実的な考察をおこのは、14回=210点満点が60%以上の場合、達成	理解している。 いてな論いいている。 なな独自のできないのでは できないではないのでである。 できないではない。 できないできる。 できないできる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	。(15点) 系) みている。(15 (15点) でおこなってい 目標2及び3に	る。(25点)	
ート(1回・100 評価方法 毎回の授業における 授業内容 1. 科学技術倫理と 2. 生殖技術の発見 3. 日本の生命観と 4. スポーツとドー 5. 「性」と「身体 6. 「健康」と「標 7. 脳死と臓器移札 8. 環境を「保全す 9. 「ハードゾーニ 10. ニセ科学がラ 11. 科学ジャー	[論 [独 [現: [記: つるレポート(14回・15] の点満点)について、合計点: るレポート(14回分)の成: と生命倫理 展と権利の問題 と西欧の生命観 一ピング問題 本」の問題 準値」の関係 値 する」とは ング」と「ソフトゾーニング 引き起こす問題 ナリズムをめぐる諸問題 プローイングの長所と短所 内責任	理性] 論理的に記述されて自性] 独創的な視点に基づ自性] 現実的な考察をおこ実性] 現実的・現実的な考察をおこのは、14回=210点満点が60%以上の場合、達成	理解している。 いてな論いいている。 なな独自のできないのでは できないではないのでである。 できないではない。 できないできる。 できないできる。 できる。	。(15点) 系) みている。(15 (15点) でおこなってい 目標2及び3に	る。(25点)	

キーワード	応用倫理学,生命倫理,自	自己決定,自己責任,	未来世代,	トランス・サイエンス、STS		
教科書	使用しない。毎回プリント	トを配布する。				
参考書	必要に応じて適宜紹介する	3.				
カリキュラム中の位置づけ						
前年度までの関連科目		倫理·社会, 哲学,	歴史学			
現学年の関連科目		人間と科学 I				
次年度以降の関連科目						

連絡事項

シラバスの内容に変更があった場合は受講者に対して速やかに説明する。 シラバス作成年月日 平成27(2015)年2月25日